

2012年度 海外研修旅行（フィリピン・ミンダナオ国際大学との交流・研修）報告

本学では、8月20日から24日まで、フィリピンのダバオ市にあるミンダナオ国際大学（MKD）との友好交流協定に基づく交流・研修旅行を実施し、短期大学部の学生5名（幼児教育学科2名、社会福祉学科3名）と7名の教職員が行って来ました。その報告をさせていただきます。（引率教員：志村真）

8月20日（月）

朝、早起きして自宅を出て、中部国際空港に7:30に集合しました。1人の遅刻もなく、予定通りフィリピン航空43便にてマニラへ。マニラで国内線同183便に乗り継いで、フィリピン南部ミンダナオ島のダバオに着いたのは、夕方5時過ぎでした。空港で荷物が出てくるのを待っていると、MKDのイネス・マリヤリ学長が偶然におられ、教員たちは再会を喜びました。

空港にはミンダナオ国際大学の武藤真美子さんが迎えに来てくださいました。武藤さんは毎回、私たちの研修旅行をサポートしてくださっています。送迎バンにてダバオ市内に向かい、MKDの近くにあるホテルに到着。打ち合わせの後、近所のフィリピン料理屋さんで夕食。初日から参加者はフィリピン料理のあれこれを美味しくいただきました。フィリピン料理は優しい味で、私たちの口に合うようです。



中部国際空港で出発前に



ダバオは炭火焼きが有名

8月21日（火）

この日は、フィリピンの国民の祝日（アキノ記念日）でお休みです。というわけで、研修の初日は、文化研修（？）ということにしました。MKDの学生3名と教職員3家族と一緒に、ダバオからボートに乗って目の前のタリカッド島へ行き、バーベQと海水浴を楽しみました。（お休みの様子を最初からというのは気が引けますので、この日の報告は記事の最後に置きますね。）



タリカッド島行きダブルリガー



MKD の先生方と



MKD の学生と本学参加者

8月22日（水）

いよいよ研修の第一日です。この日は「福祉の日」となりました。まず、9時からミンダナオ国際大学3階のホールで、歓迎式典がありました。式典では、NKDのラウラ・セスポン副学長が挨拶され、両大学の交流の意義を語ってくださいました。また、本学社会福祉学科の教員有志が寄贈した介護授業用のベッドの贈呈も行われ、飯尾学科長が感謝状を受け取りました。

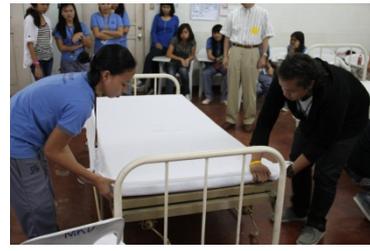
この日は、MKDの社会福祉学科の全学生を対象とした「日本の介護技術」の特別授業が、本学准教授の野村敬子先生の指導で行われました。午前の部には、本学社会福祉学科の学生3名もアシスタントとして加わり、MKDの学生たちとのよき交流と学びのときとなりました。



セスポン副学長から感謝状を
いただく飯尾学科長



フィリピンでも炎の講義で
知られる野村先生



ベッドメイキングに取り組む
MKDの学生たち

午後からは、野村先生を教室に残して、私たちはダバオ市立「コスギアン老人ホーム」を訪問し、研修させていただきました。「コスギアン」は、施設のために土地を寄贈された中国系のご婦人の名前で、18年の歴史を持っています。この3月に新しい建物が完成し、私たちはその新施設を見学しました。居室は2人部屋が中心で、中央にリクレーションを行う広間や食堂、職員のステーションがありました。フィリピンの高齢者介護は家族介護が中心で、このような老人ホームには、何らかの虐待を受けたり、路上で保護されたりした方々が入居しておられ、そのためにソーシャルワーカーが深く関わっているとの説明で

した。

3時までには一旦、ミンダナオ国際大学に戻り、介護授業の後半に参加。授業の最後には野村先生への感謝状の贈呈式が行われました。この日は講義のほか、ベッドメイキングや移乗、その他の介護技術の演習が行われ、MKDの学生は日本の介護技術の一端に触れることができたと思います。

夕方はミンダナオ国際大学の教職員との夕食会が催され、私たちは招待に与りました。このように大学あげて歓迎して下さったことに心から感謝いたします。



コスギアン老人ホーム



フィリピンの利用者たちと交流



介護授業の後で

8月23日（木）

23日の午前には、最初に MKD の日本語クラスの授業見学をいたしました。国際学科の2クラスを訪ね、それぞれ日本人の先生とフィリピン人の先生が少人数による授業を提供している様子を見学、また代表が日本語であいさつをし、交流いたしました。



MKD の日本語クラス



パグアサ・センターで交流



「年中組」の子どもたち

次に、ダバオ市内の貧困地区 Ma-a13 地区に立てられた「パグアサ・ラーニング・センター」を訪問し、年中の子どもたちと交流しました。「パグアサ」とはタガログ語で「希望」という意味で、このセンターはダバオ市の要請に応じて、MKDの教職員やダバオの日系人、そして日本の方々からなる「パグアサの会」が2010年6月に設立しました。「パグアサの会」では寄付金を募り、家賃や保育所教師の給料、教材費などを負担しています。1時間ほどの滞在では、自己紹介の後、本学教授の沖中秀子先生と附属桐ヶ丘幼稚園の明石英

子先生、そして幼児教育学科の2名の学生が子どもたちと歌ったり、踊ったり、そしてお土産に作ってきた紙のコマを一緒に回したりして遊びました。

午後からは、MKDの向かいに立つ日系人会国際学校の幼稚園（年長）の子どもたちと1時間ほど交流しました。こちらの幼稚園はおそろいの赤いユニフォームで、子どもたちはとても人なつこく、素晴らしい笑顔をプレゼントしてくれました。交流では、明石先生の「はらぺこあおむし」のパフォーマンス、それからみんなで「動物福笑い」などをして遊びました。国際学校では日本語が必修ということもあり、学生や教員は日本語と簡単な英語で交流をすることができました。けれども、一緒に作業をしたり、手を握ったり、ハイタッチをしたり、心とからだの触れ合いができたことはわすれがたい思い出になることでしょう。それは、「パグアサ」でも「コスギアン」でもそうだと思います。



「福笑い」を説明する沖中先生



じゃあやってみよう！



国際学校の「年長さん」と

国際学校で子どもたちとお別れをした後、3班に分かれてダバオ市内のモールに買い物に行きました。タクシーの手違いで別のモールに連れて行かれ、結局は2グループに分かれてのショッピングでした。そして夕食は、近くの炭火焼きのお店で「最後の晩餐」を行いました。皆さん、フィリピンの味には慣れた感じで、またしても満腹になるまで食べてしまいました。

8月24日（金）

あっという間に最終日（移動日）を迎えてしまいました。朝、とても早起きをしてホテルを5時半に出発。MKDの武藤さんがとても朝が早いのお見送りに来てくださいました。今回も、彼女を含め、MKDの諸先生方には大変お世話になりました。本当に感謝です。

フィリピン航空 820 便にてダバオからマニラへ。空港職員が使う食堂で朝食を取り（これも面白い体験でした！）、国際線に乗り換えて、同 438 便にて中部国際空港へ。午後7時前に到着、あいさつを交わして帰途に着きました。

まとめとして

今回の研修旅行では、短期大学の両学科から5名ではありませんでしたが、1年生の学生が参加してくださり、フィリピンという国を初めて体験し、ミンダナオ国際大学の学生、教職員の皆さんと交流し、そして福祉と幼児教育の分野で視察、研修を行うことができました。教員も介護授業をMKDで行ったり、フィリピンの幼児の体力測定を実施して、日比の比較研究を行った者（鈴木恒一准教授、有川一講師）もあり、研究交流の側面でも成果を上げることができたと思います。参加した学生も、振り返りの中で、「来年もまたフィリピン研修に参加したい」とか「たくさん良い出会いがあって本当にたのしかった」「私の中では、一生消えない思い出になるでしょう」「自分の今の生活に感謝し、これから自分が出来るか、考えたい」といった感想を書いてくれました。

これでミンダナオ国際大学とのダバオでの交流は5回を数えることとなりました。毎回、私たちを大歓迎してくださり、お世話いただきましたMKDの教職員ご一同、特にマリヤリ学長、セスポン副学長、ベルガラ社会福祉学科長、日本語センターの先生方、武藤先生ご夫妻に心から感謝いたします。



忘れがたい海辺での乾杯



全員無事に帰着しました

以下は最後に残しておきました、8月21日（火）のビーチでの休日の様子です。お読みいただければ、うれしく思います。

8月21日（火）（つづき）

8時すぎにホテルを出発し、市場で食材をあれこれ購入。サンタアナ港からダブルリガーの船に乗り、約40分で対岸のタリカッド島はイスラ・レタ・ビーチに渡りました。早速、テーブルやチェアを手配してバーベQです。エビや太刀魚、豚肉、鶏肉、そして野菜を炭火で焼きます。果物もマンゴー、マンゴスチン、ランブータン、そしてランソネス。どれも美味しく、どんどん食べてしまいます。

ひととおり、食べてから町の方に行ってみました。リゾートから出ると、島の日常が広がっていました。お休みということもあって、大人も子どももゆっくり過ごしている感じが、暮らし向きの大変さが伝わってきました。

リゾートに戻り、海水浴を楽しみましたが、水着を持参していなかった学生・教員も全

員、水の中に入ってしまった。それほど、素晴らしい海岸でした。

海辺でビーチ・バレーや砂遊び、貝拾いなどをして遊んだ後、もう一度舟に乗ってダバオに帰りました。濡れたままの服を気にしながら、ホテルに帰着。夕食は近くの日本料理店で麺類や丼ものを食べました。これもまた、大変おいしかったです。



木陰で椰子ジュースはいかが



海辺であそぶ



コブタもわれらを歓迎